



# 岡山県原水協通信

2011年6月17日 No168  
原水爆禁止岡山県協議会  
700-0981 岡山市北区西島田町4-25  
TEL086-244-4526 (F)805-6172  
[kenmin@po5.oninet.ne.jp](mailto:kenmin@po5.oninet.ne.jp)

## 美作原水協 385回目の6・9行動実施



385回目の69行動 津山市内

美作原水協（代表理事・下野真氏 高教組）は6月16日 午後5時から市内商店街 津山中央郵便局前で恒例の6・9行動をおこないました。あいにくの雨でしたが美作原水協参加の高教組、民商、新婦人、人権連、津山医療生協、平和委員会から9名が参加。下野代表が「福島原発事故で放射能の恐ろしさがあらためてわかりました。自然エネルギーへの転換と核兵器廃絶を」と訴えました。1時間の行動で72筆の署名がよせられました。



2011年度美作原水協総会6/16 津山中央会館

### 美作原水協総会ひらく 網の目行進 大会参加も確認

美作原水協は6月16日、午後6時半より市内中央会館で2011年度総会を開きました。総会には加盟7団体から12名が出席しました。

総会ではこの1年間毎月6・9行動を欠かさず続けてきたこと、そのべ参加者数は82名で、集めた署名は755筆と報告

されました。会議では当面する平和行進の取り組みについて議論し、「美作原水協網の目行進」として7月20日~23日美作地域で4つのコースで実施、それぞれ担当者と分担を確認しました。

また世界大会参加については広島大会にマイクロバス1台（20人）、長崎大会に1名を送ろうと意思統一されました。

### 川中優子さんの原爆症認定訴訟

沢田 名古屋大 名誉教授  
上野 京都大学 名誉教授

### 氏の「原爆症と認定を」の意見説明



裁判終了後の報告集会6/14 弁護士会館

「私の病気の原因は原爆だと認めてください」と訴える川中優子さんの控訴審第2回口頭弁論が6月14日広島高裁岡山支所で行われました。昨年6月16日、岡山地裁での「却下」判決から1年、高裁での闘いも1年が経過しました。この日は川中さんを応援をする沢田昭二名古屋大名誉教授の意見書を近藤弁護士が説明。沢田氏は「川中さんの住んでいた仁保地域は黒い雨が降ったこと、放射線微粒子を呼吸と飲食で体内に摂取し、下痢症状を発症」と訴えました。また、上野陽里京大名誉教授の意見書を杉山弁護士が説明。上野氏は「現在の医学的知見に照らせば、川中さんの現状と原爆症の関係は否定できない、原爆症と認定すべき」と訴えました。

川中さん側は、沢田先生、郷地先生の証人採用を主張。次回は9月13日に沢田、上野意見に対する国側の反論と承認採用の可否をめくり論争されます。